

「サマー・チャレンジin南三陸」

今年も「サマー・チャレンジ in 南三陸」に県内各地からたくさんの応募をいただき、選ばれた29名が参加し、8月4日（火）～9日（日）の5泊6日で行いました。

事前説明会は7月12日（日）に行い、職員・大学生並びに参加者同士の顔合わせと、活動日程や持ち物の説明を行いました。参加者にははじめ緊張が見られましたが、仲間を知り、具体的な活動日程やそのための持ち物を知ることによって期待の膨らむ様子が見られました。

5泊6日の期間中、海況により研修の日程を入れ替えた日がありましたが、研修についてはすべての予定していた内容を実施することができました。MAP活動に班旗作り、遠泳練習からの無人島上陸、無人島探検にシュノーケリング、いかだ遊びにバナナボート、野外炊飯に海鮮調理、市場見学にダム見学、写真立て作りに竹器作り、田束山登山に化石拾い、シーカヤックに海釣り、スタンツ練習にキャンドルセレモニー、スイカ割りに流しそうめんなど、どの活動においても、参加者一人一人がチャレンジし、仲間と協力し、自分自身の取組を振り返り、そして何よりも全力で楽しむ姿がたくさん見られました。

最終日、お迎えに来たご家族も同席する中、大学生の活動支援員や看護師に感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を自分たちで行いました。涙を流しながら、この貴重な出会いに感謝するとともに、仲間との別れを惜しむ姿が見られました。

この5泊6日で、参加者は、数多くの体験をし、仲間と共に過ごし、頑張る自分を見つめ、大きく成長しました。本当に素晴らしい「サマー・チャレンジ」になったことと思います。

事前説明会



は

自己紹介タイム（7月13日）

説明会

今年は、学校の夏休み前に事前説明会を実施しました。

はじめに、学年ごとに自己紹介をしました。県内各地から集まった仲間との初顔合わせということもあり、みんな緊張している様子でした。事前の宿題だった「呼んでほしい名前」や「頑張りたいこと」などを発表する自己紹介。発表した後のほっとした表情が印象的でした。

その後、「一週間どのような活動をするのか」「必要な持ち物はどのようなものか」等について説明を聞きました。館内見学では、実際に自分たちが寝る部屋やお風呂、食堂や研修室などを見て歩きました。

5泊6日、一緒に活動する仲間や、活動内容、準備物、施設の様子が分かって安心したようで、帰る頃には笑顔が見られるようになりました。いよいよ始まるという期待感が溢れていました。

第1日目 8月4日(火)



開講式



開講式(代表挨拶)



オリエンテーション



昼食



MAP(じゃんけん系)



MAP(瞬発系)



MAP(タイム計測系)



MAP(協力系)



班活動(旗作り①)



タベのつとい



班活動



班活動

1日目、開講式・オリエンテーションからスタート！！

初めての昼食を終え、MAP(みやぎアドベンチャープログラム)を体験。様々な活動を通して、お互いに打ち解けて仲良くなり、あっという間に笑顔と笑いが広がりました。

その後、学生リーダーと共に、班ごとに旗作りをしました。班のめあてやチャレンジしたいことなどを書き、これから頑張っていこうとする気持ちを高めることができました。

夜は一日の振り返り。個人・班で振り返り、頑張ったことやめあてを旗に書き込みました。

第2日目 8月5日（水）



田束山登山



払川ダム見学

化石展示室見学

化石採集



化石探し

写真立て作り①



タベの集い

班活動（振り返り）

2日目は、午前は田束山（512m）登山。天候に恵まれて暑過ぎず、沢水の音やセミの鳴き声を聞きながら、木陰を登りました。足場の悪いところを通るときは互いに声を掛け合いました。後半、疲れた仲間の荷物を持ったり後ろから押したりと、仲間を思いやる姿がすべての班で見られました。体調を気遣いながら多めに休憩を挟む班もありましたが、全員が山頂まで登り切りました。その山頂で、達成感に包まれながらみんなで食べたおにぎりの味は格別でした。

午後は町内の払川ダムの見学。高さと大きさに圧倒されながらここでも絶景を堪能しました。その後は化石展示室で見学してから化石採集を行いました。所に戻ってからは写真立て作り。焼きごてやグルーガンなどあまり使ったことのない道具を使って作業を進めました。

第3日目 8月6日(木)



南三陸町地方卸売市場見学

いかだ作り①



いかだ作り②

いかだ遊び



バナナボート

海岸散策

野外炊飯(火おこし)



野外炊飯(夕食作り)

3日目は、早朝から南三陸町の卸売市場に行き、志津川湾の魚介類やせりを見学しました。午前は、班ごとに協力していかだを作り、できたいかだで海に漕ぎ出しました。さらにサプライズのバナナボートでは、歓声や悲鳴を上げながら全身で海を楽しみました。午後は写真立て作りで使う貝殻や石を海岸に探しに行きました。そしてこの日の夕食は野外炊飯で作るカレーライスです。初めての飯ごうや火おこしに挑戦。1人1合ずつと多めのご飯を炊きましたが、どの班もお代わりを繰り返して食べ切っていました。もちろん後片付けも協力しながら手際よく行っていました。

第4日目 8月7日（金）



遠泳練習・シュノーケリング体験



遠泳練習・シュノーケリング体験



樁島探検



看護師の方へ感謝の会

竹器&竹箸づくり

午前、ライフジャケットやシュノーケル合わせをからの遠泳練習でした。中には泳ぐのが苦手と言いながら、海に自分から飛び込むまでに自信をつけた友達もいました。

午後は、無人島上陸のための遠泳開始。後藤一磨さんを講師に、樁島の歴史や天然記念物となっているタブノキについて学びながら探検を行いました。樁島周辺でのシュノーケリングでは海藻や魚を見つけて海の中を満喫しました。その帰りも船まで遠泳。そして戻る船上で、海鳥にえさやりをしました。集まる海鳥にみんな大興奮でした。

夜は世界に一つだけの竹器を作り！のこぎりや小刀を使って仕上げました。始めは苦戦していましたが、慣れてくると細かなところまで丁寧に面取りして美しく仕上げることができました。

第5日目 8月8日(土)



シーカヤック



海釣り

スイカ割り



発展的な海洋研修



キャンドルセレモニー

5日目は、シーカヤックと海釣りをしました。少し風もありましたが漕いでいるうちにどんどんコツをつかんでスピードも出るようになり、気持ちよさそうに海上のお散歩を楽しんでいました。海釣りでは、エサのアオイソメに悪戦苦闘する様子もありましたが、タナゴやフグを釣り上げました。のんびりと海を眺める時間もあと少しだと思うと、少し寂しさを感じる海釣りタイムでした。午後は、発展的な海活動として海への飛び込みにチャレンジ！海洋活動最後の日でもあり、思う存分に海を満喫しました。夜は、キャンドルセレモニー。厳かなセレモニーとワイワイゲーム大会。最後の夜も熱く盛り上がりました。

第6日目 8月9日(日)



朝のつどい（旗掲揚）



活動のまとめ（作文）



海産物調理の実習



流しそうめん（昼食）・海鮮バーベキュー（いか・えび・ほや）



感謝の会（スライドショー）



感謝の会（看護師さんへの感謝）



感謝の会（学生支援員への感謝）



閉講式



閉講式（代表挨拶）

6日目は、午前は活動のまとめとして、作文を書きました。一人一人が集中して、前日までの5日間を振り返って、チャレンジしたことや仲間のことを用紙いっぱい書き表しました。

昼食は、サプライズで流しそうめんを行いました。自作の竹器につゆを入れて、流れてくるそうめんを楽しそうにすくってたくさん食べていました。また、海鮮バーベキューでは自分でほやをさばいたり、エビに串をさしたりして作業も友達と一緒に相談して協力して行っていました。

ご家族も参加して始まった感謝の会、はじめに活動の様子をまとめたスライドショーを上映しました。看護師さんと学生リーダーに、丁寧に仕上げた色紙と自分の言葉で感謝の気持ちを伝え、たくさんの笑顔と涙があふれる時間になりました。海や山、生活面での初めての経験を積み重ね、仲間と共に成長した子どもたち。今後もチャレンジし、成長することを楽しみにしています。



◎志津川自然の家～！！



◎田束山での集合写真